

医療事務学科の3つのポリシー

ディプロマポリシー

医療事務学科は、「養成目的」と「教育目標」に基づいて、「医療機関等の事務系スタッフとして必要とされる人間力があり、求められる専門知識と技術を兼ね備えた学生を社会・業界に送り出します。卒業までに身につけるべき資質を以下に示します。

1. 学内における様々な教育プログラムを通じて、患者相談に応需できる能力が培われている。
2. 医療機関等との連携プログラムにより即戦力として求められる人間力を、また社会人としての身構え、気構え、心構えを身につけている。
3. 診療報酬請求に関する実務能力、看護補助に関わる基礎技術、それらに関する資格等を取得する。

カリキュラムポリシー

医療事務学科は、「養成目的」と「教育目標」を実現するために、「専門職業教育」と「キャリア教育」を体系的に一体化した医療人教育のカリキュラムを提供します。カリキュラムの柱を以下に示します。

1. 医療機関等との連携によるインターンシップ実習等を提供します。
2. 学生ひとり一人の人的成長とキャリア設計を支援します。
3. 基礎学力の向上を図るプログラムを提供します。

アドミッションポリシー

医療事務学科の「養成目的」と「教育目標」に共感できる入学者を受け入れます。求める人材像を以下に示します。

1. 目的、目標を持ち広く医療に貢献したいと考える人。
2. 仕事観、勤労観を備える人。
3. 自ら学ぶ姿勢と自己の課題を発見し解決するなど、生涯にわたって自らのキャリアを形成する意識を備える人。